

調査からみえる県民生活実態の特徴と分析方法

【学歴】「愛媛県民の方が大卒者の比率が高い」

(NA=96) $p<0.000$

	中学	高校	高専・短大・専門	大学・大学院	計
愛媛	10.9	41.7	22.0	25.4	100.0 (1174)
長崎	13.8	48.1	19.6	18.4	100.0 (1166)
計	12.4	44.9	20.8	21.9	100.0 (2340)

・属性的特徴を整理する

- ・「20 代以下」以外では、どの年代においても愛媛の方が大卒率高い
- ・男女とも、愛媛の方が大卒の割合が高い

・仮説を考えて、分析をする

- ・U ターンした大卒者が多いのでは？ 大卒者の他市町村居住経験者は愛媛の方が低い
- ・松山大学仮説「愛媛県に、師範(愛媛大)と高商(松山大)の 2 つがあること」

・他の統計データと組み合わせて、分析する

- ・大学定員数・文科省学校基本調査

【居住形態】「愛媛県の方が持家一戸建て比率が高い」

(NA=32) $p<0.000$

	持ち家 一戸建て	持ち家 マンション	賃貸 マンション	公営住宅	その他	計
愛媛	75.4	2.9	11.9	2.4	7.3	100.0 (1199)
長崎	70.0	5.1	11.8	5.1	8.0	100.0 (1205)
計	72.7	4.0	11.9	3.8	7.7	100.0 (2404)

・属性的・地域的特徴を整理する

- ・愛媛県・長崎県とも、年齢が上がるにつれて持ち家一戸建て居住率が高くなっている
- ・どの年代でも愛媛県の方が持ち家一戸建ての割合が高い
- ・愛媛の場合、最も割合が少ないのが 20 代以下で 52.6%、多いのが 70 代以上で 91.7%
- ・市町別では伊方町・鬼北町・松野町が 100.0%と高く、市では八幡浜市・新居浜市・西予市・東温市が 8 割を超えている。低いのは、松山市と上島町

・他の統計データと組み合わせて、分析する

- ・国勢調査の共同住宅率：松山市と長崎市で共同住宅率はさほど変わらない(松山 40.1%・長崎 41.%)が共同住宅持ち家比率は長崎が高い(松山 11.0%・長崎 17.9%)

・居住関連の他のデータを、仮説を考えながら分析していく

- ・どの居住形態に「単身世帯」が多いのか？ 賃貸マンションに単身世帯が多い(37%)
- ・「親との同居の状況」を整理してみよう・・・

【親】愛媛の場合 本人の父親・・・健在 38.8%・他界 61.2%。60 代では 91.1%、70 代以上では 99.1%が他界

本人の母親・・・健在 55.5%・他界 44.5%。60 代では 68.8%、70 代以上では 93.5%が他界

本人・配偶者の親を含めた同居率 愛媛 同居 33.6%(267)・別居 66.4%(528) 計 100.0%(795)

長崎 同居 32.1%(249)・別居 67.9%(527) 計 100.0%(776)

- ・同居率が低いのは、松山市や松前町。高いのは南予地域。(※ただしサンプル数が少ない)

別居の場合の親の居住地(車での所要時間)

		全体			親が県内に居住している場合		
		所要時間	最小～最大	(人数)	所要時間	最小～最大	(人数)
愛媛	本人の親	66.1 分	(0～1200 分)	(496)	37.3 分	(0～540 分)	(431)
	配偶者の親	67.8 分	(0～1200 分)	(386)	31.3 分	(0～300 分)	(326)
長崎	本人の親	68.3 分	(0～1320 分)	(483)	36.9 分	(0～600 分)	(374)
	配偶者の親	61.0 分	(0～900 分)	(408)	30.3 分	(0～210 分)	(221)

- ・愛媛では、親が県外にいる場合、香川県・徳島県・高知県・広島県が多い。

【広報紙】「愛媛県民の方が、県広報紙を読んだことがない」

	県広報紙 読んだこ とがある	県広報紙 読んだこ とがない	計	市広報紙 読んだこ とがある	市広報紙 読んだこ とがない	計
愛媛	52.6	47.4	100.0(1118)	81.5	18.5	100.0(1168)
長崎	65.2	34.8	100.0(1160)	81.6	18.4	100.0(1170)
計	59.0	41.0	100.0(2278)	81.6	18.4	100.0(2338)

(NA=158) p<0.000

(NA=98)

・属性的・地域的特徴を整理する「県広報紙」

- ・長崎と比較すると、愛媛は40代～60代の「読んだことがある」の割合が少ない
 - ・愛媛・長崎とも、「読んだことがある」の割合が少ないのは大卒
 - ・どの学歴でも長崎の方が「読んだことがある」の割合が高い
- ・松山市では高いが(長崎市は低い)、中予・東予で割合が低い
 - 現状の広報紙が、40～60代・中予・東予で読まれていない→「長崎広報紙」の内容分析へ

・県民のタイプ分けを考え、分析していく

- ・「全く関心なし層」「ある程度関心あり層」「関心あり層」→地域活動・施設利用の分析へ
県広報紙・市広報紙どちらも読まない層は、地域活動全くかかわらない層の比率高い
- ・「市町の広報紙を読んだことがあるが、県の広報紙を読んだことがない」層への着目
愛媛 29.2%(323/1107)、長崎 17.2%(197/1145)→どんな人か?→対策へ

【車社会】

Q5-2 通勤手段→両県とも車が6割以上 愛媛=自転車、長崎=路面電車の比率が高い→地形との関連
大都市圏と比べると、車社会の度合いが顕著

	車を 持っている	車を 持っていない	計	所有台数 (全体)	所有台数 (所有者のみ)
愛媛	90.8	9.2	100.0 (1190)	1.74 台	1.92 台
長崎	88.1	11.9	100.0 (1198)	1.74 台	1.95 台
計	89.4	10.6	100.0 (2388)	1.74 台	1.93 台

愛媛	徒歩	自転車 バイク	自動車	鉄道	その他	計
Q5 通勤先(あなた)	8.6	20.3	63.8	1.9	5.5	100.0 (676)
Q5 通勤先(配偶者)	6.6	20.1	65.9	1.3	6.1	100.0 (457)
Q10 あなた両親の住居	7.6	7.0	74.7	3.6	7.2	100.0 (501)
Q10 配偶者両親の住居	9.3	5.0	78.6	1.3	5.8	100.0 (397)
Q22 食料品店	8.0	16.9	73.3	0.0	1.8	100.0 (1185)
Q23 病院	10.5	14.0	71.1	0.5	3.9	100.0 (1093)

・高齢化と車社会の政策課題を考える

- ・高齢者と車の運転 Q31 70代以上「ほぼ毎日運転」52.8%、「たまに運転」9.4%、・・・「免許持っていない」32.2%
60代 「ほぼ毎日運転」65.2%、「たまに運転」13.7%、・・・「免許持っていない」13.6%
- ・「誰が買い物をしているか」「食料品」「病院」「単身世帯」「頼りにする人」

【生活圏】・Q14-1 他市町村居住経験 愛媛=京阪神 長崎=福岡県との関連

- ・出身地・配偶者との結婚パターン・国内宿泊旅行先
- ・近居の実態把握「子供がどこに住んでいるか」「親がどこに住んでいるか」
- ・生活行動の空間的把握「勤務先」「食料品店」「病院」→郵便番号分析